

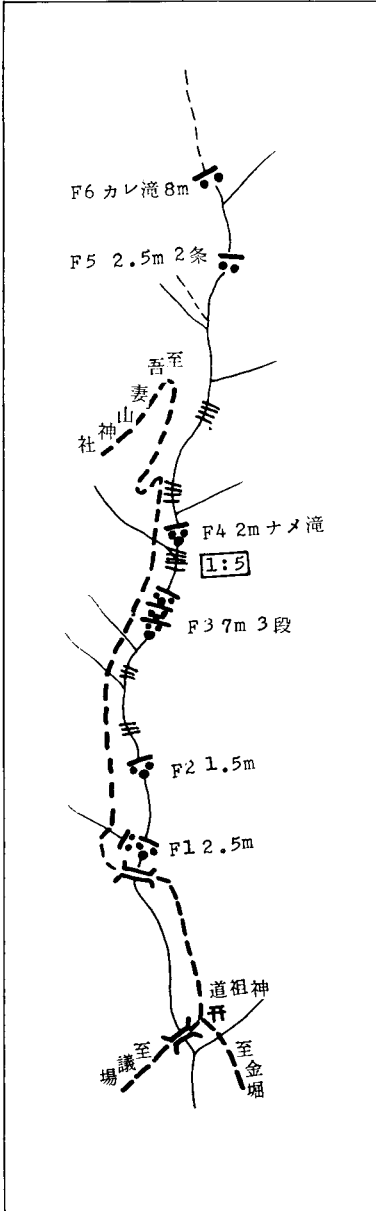
唐松川

一九八〇年七月六日

◆天気(小雨)

中津川登山口で車を降り(議場へ向かう林道は遮断機がある)議場を通り、道祖神のある分岐を左に入って、次の橋から沢に入る。

すぐF1二・五段で右岸をへつるがよくすべる。小滝もたくさんあり、ほとんどが釜をもっているが、高さ



唐松川 (作図: 5)

はみな一桁程だ。F3の三段の滝を登り少し進むと二俣となる。左支流は水があまりなかった。雨もやんだので雨具をぬぐ。F5二・五段は二条になっていて左岸側が水量豊富。右岸を登る。兩岸よりヤブがせまり水量も少なくなり、やがてカレ沢となって岩がごろごろしている。八段のカレ滝を右岸から越し、少し登ったところから引き返す。
(記・ ㄷ)

[タイム]

中津川登山口八:一五 | 橋九:〇〇 | 折り返し点一
一:〇〇